

2022 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部／ 研究科 国際社会科学科／専攻 3 年（留学年次） 3 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学 全球政治経済学系全英語学士班
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2022 年 2 月 21 日 ～ 2022 年 6 月 30 日 出国日 年 月 日 最終帰国日 年 月 日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第 1・2 回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

私は、台湾への留学の目標として、「現地の大学で英語を習得し、日常生活では台湾語を習得するという 2 言語習得と寮生活や親戚や友達のいない生活を通して自己管理能力を身に付けること」を掲げていた。

1 回目の報告書では、「オンライン留学は学習院のオンライン授業と似ているのでオンライン留学という選択が正解だったかは答えづらい。」と回答した。もちろん留学が終わった現在でも現地で学ぶ方が断然に良いと思う。しかし、2 回目の報告書で記述した通り、自分の工夫次第でオンライン留学も十分充実したものにできると感じた。

私はオンライン留学であっても、手を抜かずに本来の目標を達成したいと感じたので、日常生活で台湾語の習得ができない分、週 2 回の 2 時間の授業を通して台湾語に触れることにした。最初は何もわからなかったが、授業時間外に予習復習を続けることで他の留学生と台湾語で少し会話できたことに達成感を感じた。現在は、語学試験の受験に向けて勉強を続けている。

留学前は、海外の大学で学ぶことで自分の価値観や考え方は何か変わるのだろうかと少し疑問に思っていた。しかし、留学先大学の授業を通して、自分が学習院大学に戻ってから自分が研究したい分野が定まった。だから、学びたい国・大学の事情でオンライン留学に変更になったからといって学ぶことを諦めるのではなく、目標をあらかじめ決めておけば、十分有意義な時間を過ごすことができると感じた。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

留学前に大学で開講されている授業をあらかじめたくさん調べておくこと。留学をするうえで自分がその大学で何を学びたいのか・何を身に付けたいのか明確にしておけば、そこまで興味関心のない授業を履修する必要もなかったなと思ってしまった。

自分は、難易度の高い関心度の低い授業（金融系の授業）を履修してしまった。最初は後悔してしまったが、苦手な分野も克服するという目的を作ったことで最後まで授業を受けることができたので自分の工夫と努力次第によってなんとかなるとも感じた。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業は日本の大学の授業形態と似ている。授業にもよるが、生徒は日本人のように消極的な人が多いので、手を挙げて発言するのが少し勇気がいるなど感じてしまうことがあった。

教授は皆非常に優しく、親しみやすさを感じた。私は、分からないことがあればすぐ教授にメールをしていたが、私がオンライン留学で相談する相手がないことを知っていたのか、迅速かつ親切に対応してくれた。彼らのような素敵な教授だったからこそ、自分は半年間心折れることなく授業をけることができたと思う。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕)／自炊／その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 円

(3) 生活費 (※宿舎費を含めた金額を記入してください。)

(現地通貨) 月額・年額 約 、(日本円) 約 円

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード

／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

(2) 保険料

円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

(4) 持って行けば良かったと思う物

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

午後からの授業が多いので、午前中に予習復習の時間を設けて学習の理解を深めている。私が履修している授業のほとんどは、予習・復習しておかないと授業のスピードについていけないことがあるので、予習・復習は短時間でも必ず行うようにしている。特に、Corporate Finance Policy は金融用語を深く理解しているという前提で授業が進むので、金融の授業を始めて履修する私にとって、復習は欠かせなかった。空いている時間を使って、アルバイトも行っていった。

(2) 週末

余暇の過ごし方としては、オンライン留学ということもあり、日本にいたのでアルバイトを継続して行っている。または、友人や家族で出かけたりもしている。大学の友達と遊ぶこともあるが、どのような授業を履修しているのか直接情報を得ることができるので、そこは、オンライン留学ならではの過ごし方だと思う。普段、孤独な環境下で家に籠って勉強ばかりしているのでいい気分転換になっている。休日は勉強を忘れて自分の好きなこと・やりたいことを行っている。

8. 後輩へのアドバイス等

1回目の報告書でも記述したことになりますが、これはオンライン留学のレポートなので、今後この資料を目に通す学生はほとんどいないかもしれませんが、現地で学べることがいかに貴重な機会であるのか考えて欲しいです。コロナの影響で私のようにオンライン留学をする人や、留学すら諦めてしまった友人がたくさんいます。このような現地に行くことができなかった人の想いも背負って留学に臨んでほしいと思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。